



# 学校だより

冬休み号

令和6年12月24日  
横浜市立西寺尾小学校  
☎045-431-1279



副校長 大澤 隆

## 西寺尾小の子どもたち

「わたしがやる!」「雑巾はこうやって絞るんだよ。」など、校内のあちらこちらで、子どもたちのやる気に満ちた声や、上の学年の子が下の学年の子にアドバイスをしている声が聞かれました。14日(土)に行われた「ピカピカ大作戦」でのことです。

今年度は、町内会長の皆様や保護者の皆様、PTAの担当の皆様と一緒に活動しました。子どもたちの手が届かないような高いところを担当してくださったり、子どもたちに掃除の仕方についてアドバイスしてくださったり、そして、一緒になって机を運んでくださったりと、異学年交流とともに、地域や保護者の方々とのふれあいを深めることもできました。お手伝いいただいた皆様、本当にありがとうございました。

さて、ピカピカ大作戦終了後に「錦台中学校ブロック学校運営協議会 第2回西寺尾小学校委員会」が5名の委員の参加のもと開催されました。会の中では主に、①ピカピカ大作戦での子どもたちの様子 ②後期の教育活動について、どちらも写真も資料にしながらい見が交わされました。

①では、「子どもたちが皆一生懸命に掃除をしていた。高学年の子がリードしていた。」「それぞれの持ち場でしっかりやっていた。事前に役割分担しておいたことがよかったのだろう。」「掃除帰りの保護者が、楽しかったと言っていた。」「中学年の子が、目をキラキラさせて、〇〇をやった!と言っていた。褒められたいのだと感じた。たてわり(異学年での班)で取り組んだこともよかった。」「大人の参加、目が増えたこともよかったのではないかな。」などの感想をいただきました。

②の話題でも、「子どもたちが一生懸命取り組んでいることが分かった。勉強第一でもあるので頑張ってもらいたい。」など、本校の子どもたちの様子を感じ取っていただけている言葉をいただきました。また、「遠慮しながらものを言う子は少なくなっている。自分の主張をはっきり言う子が多いと感じている。はっきりと自由に言えることはよい面もあるが、あまり自由だと困ることもあるのではないだろうか。」、その他の話題の中では、「PTAと地域の関係を、子どもたちのことを考えながらもう一度考えていかななくてはならないのではないかな。」など、この地域で育つ子どもたちのことを、学校、保護者、PTA、地域、キッズクラブ等、多くの関係者が連携して、改めて考えていかなければならない点について、問題提起をしていただきました。

明日より冬休みに入ります。しばらくの間、子どもたちは地域の中で過ごすことが多くなります。事故や事件等に巻き込まれず、一人ひとりが安全に安心して過ごせるよう、周りの大人の目や声が必要だと感じています。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

